



やくばしょくいん      しばたまち      しょう      ちゅうがくせい      みな  
**役場職員から柴田町の小・中学生の皆さんへ**  
 ちょうみんかんきょうかちょう      えんどう      みのる  
**町民環境課長 遠藤 稔**

4月に始まる予定だった皆さんの学校生活は、ひよんなことから5月まで自宅で過ごすことになりましたね。小学生の皆さんも中学生の皆さんも、6月からのスタートを楽しみにしていることとおもいます。

今まで4月に始まる学校で学んだ経験しかない大人から見ると、桜の咲く季節に学校が始まることは「普通」のことで、5月まで自宅で過ごさなければならないことは、とても違和感を覚えますが、皆さんはどう感じているのでしょうか。

自由に過ごせる時間が持てることでうれしく思っている人もいるのでしょうか。あるいは先生、友人と会えないことや学習ができないことで、孤独や不安を感じる人もいることでしょう。そして、健やかな成長を願っている学校の先生方やお家の方、地域の方々もとても心配していることとおもいます。これまでの小学校の児童や中学校の生徒の生活パターンからすれば、皆さんの置かれた状況はとても「異常」なことなので、いろいろと心配したり不安になったりするものです。ただ、一方では自宅でたくさんの時間を過ごせることができるので、「普通」の生活ではできないことを経験することもできますね。そうすることで、「普通」とは違う場所から回りを見ることができたかもしれません。物事をいろいろな場所から眺めるといことは、正しく理解することにつながるのとても大切なことです。

今回の出来事は「新型コロナウイルス」というとても小さい存在なのに、そのパワーがとても強力な物質であるため、現在は治療方法が見つかっていません。このウイルスという存在は、環境に合わせて柔軟に変身をするため、私たちの体がいくら丈夫になったとしても、ずっと付き合い続けなければならないようです。

残念なことに、このウイルスにより多くの方が命を落としています。この犠牲から教訓として学ばなければならないことがいくつかあるとおもいます。その一つは、成長することの意味を再確認させられたことです。成長するということは、時には強く、時には柔らかく、そして時には変身を重ねることだということをおしえてくれているとおもいます。加えて、いろいろな形をしたウイルスのうち環境に適応したものが残り続ける習性からは、人間の社会もいろいろな人がいることを改めて確認することがとても大事で、違った人が共に生活することが望ましい社会なのだということをおしえてくれているような気がしてなりません。

じかい      すずき      としあき      そうむかちょう  
**次回は、鈴木 俊昭 総務課長です。**